



英語のジョーク宅配便

Vol. 102 March 19, 2012

OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言ってみること」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club=JLC) 代表・宮本倫好

- 本紙は、原則として、毎週月曜日に配信します。
- 執筆者は右の五名の本会会員です。相原悦夫、岡田茂富、田村公雄、土屋政雄、豊田一男

■ **本日のお届け品:** つけていたのはあれだけかと思ったら？



It's not true that I had nothing on. I had the radio on.

Marilyn Monroe

【語句と和訳】

難しいことばはありません。（何もつけていなかった、というのは事実ではありません。ラジオをつけていましたわ。—マリリン・モンロー）

【笑いのツボ】

香水だけじゃなかった。実のところ私は、勝手にマリリン・モンローを二十世紀の偉人の一人と思っています。毎日、彼女は私の携帯の待受画面で私に微笑してくれます。

It's all make believe, isn't it? (すべてふりをするだけじゃないの?) だなんて、こんな深遠なことを普通の人と言える？

- 今回の担当は、岡田茂富でした。